

こんろ火災を防ぐポイント

- 調理中にこんろから離れない。
- こんろの周りに燃えやすいものを置かない。
- 換気扇や魚グリル等は定期的に掃除する。
- こんろの上や奥にあるものを取るときは、火を消す。
- 防災品のエプロンやアームカバーを使用する。
- 火が鍋底からはみ出さないように調節する。
- 安全機能付きのこんろ※を使用する。



防災品ラベルは2種類あります

消防庁登録番号

←防災物品ラベル
↓防災製品ラベル

防災

登録確認機関名
公益財団法人 日本防災協会

提供：日本防災協会

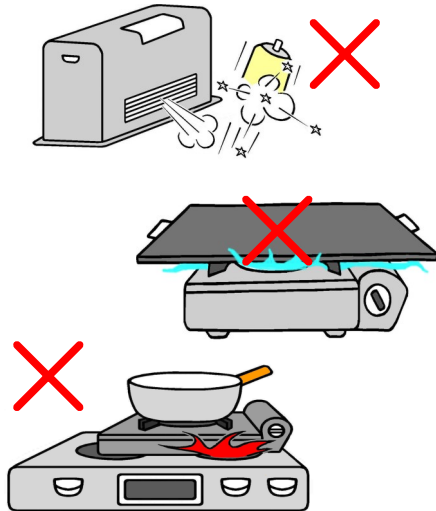
※ ラベルには様々な様式があります。

※ 現在製造されている家庭用ガスこんろは全て全口に調理油過熱防止装置、立ち消え安全装置、こんろ・グリル消し忘れ消火機能を有する Siセンサーこんろです。

カセットこんろは適切に使いましょう

カセットこんろによる住宅火災では、鍋などからはみ出した炎が着衣に着火したり、不適切な使用でボンベが爆発したりし、死者や負傷者が発生しています。次のことに注意して安全に使用しましょう。

- カセットボンベを暖房器具の前や高温になる場所に置かない。
- カセットこんろ全体をおおうような大きな調理器具は使用しない。
- ★ ボンベが高温になり爆発の原因に！
- IHクッキングヒーターやガスこんろの上にカセットこんろを置かない。
- ★ 誤って下のこんろのスイッチを入れて爆発する事故が発生！



問合せ先

東京消防庁 防災部 防災安全課 電話番号 03-3212-2111 内線4196

令和5年10月発行

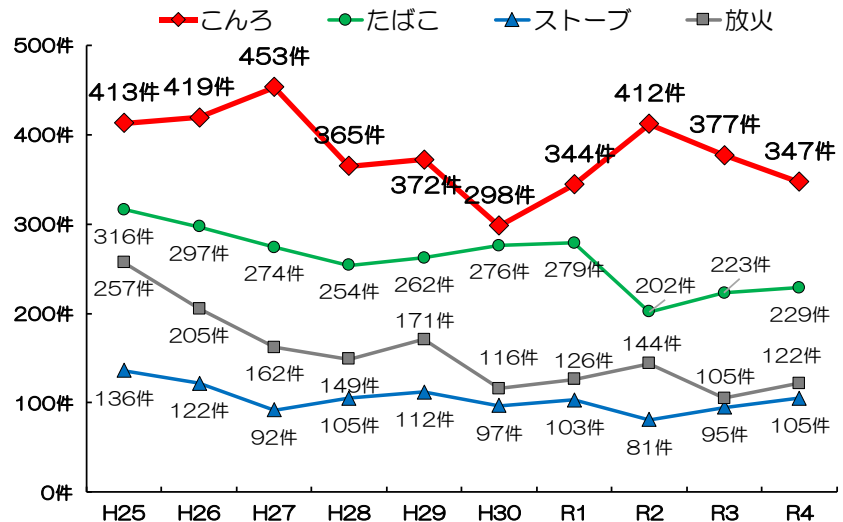


STOP!

STOP! 住宅防火シリーズ④ 火災から大切な命を守ろう

住宅火災の出火原因で最も多いこんろ火災

- 毎年、住宅火災の出火原因の中で一番多いものはガスこんろや電気こんろ等の「こんろ」です。



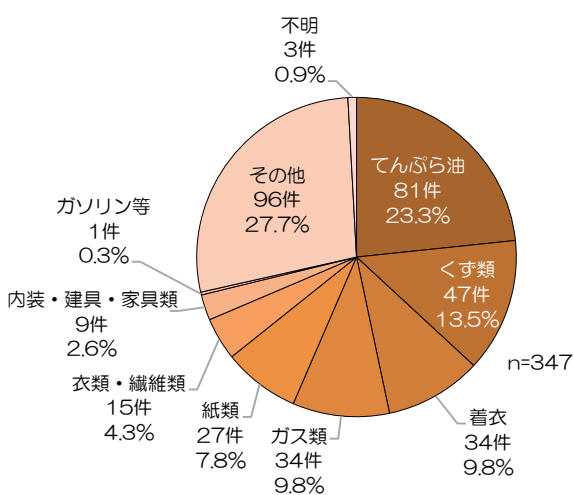
出火原因別の住宅火災件数の推移（平成25年～令和4年）

こんろ火災

東京消防庁

調理中に離れない

- 令和4年中、こんろ火災は347件発生し、「てんぷら油」に着火して火災に至った件数が最も多くなっています。
- 油かすやごみくずの「くず類」、エアゾール缶などのガス類、身に付けている衣服に着火した「着衣」の件数も多くなっています。

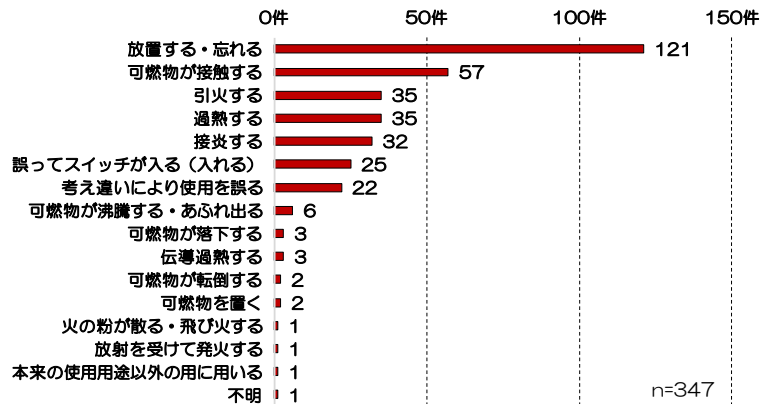


※「てんぷら油」とは、調理に使用する動植物油をいいます。

着火物別のこんろ火災件数 (令和4年 住宅火災)

- 火をつけたまま放置し忘れること、そしてくず類などの可燃物がこんろの火と接触することで火災が発生していることがわかります。

★調理中にこんろから離れず、離れる場合にはこんろの火を必ず消すことが火災を発生させないポイントです。



出火経過別のこんろ火災件数 (令和4年 住宅火災)

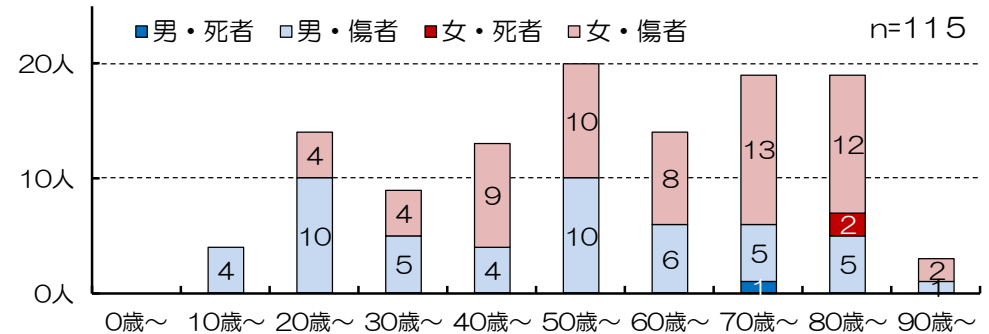
使用の誤りによる火災事例



電気ケトルをこんろに乗せ、点火したことにより火災となった。

死傷者の発生状況

- 死者3人のうち、男性は1人、女性は2人で、全て65歳以上の高齢者となっています。
- 傷者は112人で、男性が50人であるのに対して、女性が62人と、女性の傷者が多くなっています。



年齢別・性別のこんろ火災による死傷者数 (令和4年 住宅火災)

住宅用火災警報器の設置で被害軽減

全ての居室・台所・階段に住宅用火災警報器の設置が必要です

奏功事例

共同住宅の居住者(男性・40歳代)が、鍋を火にかけてそのまま就寝し、鍋が過熱され続け空焚き状態になり、発生した煙を住宅用火災警報器が感知した。隣に住んでいる住人が、住宅用火災警報器の鳴動音とベランダから煙が出ているのを見つけ、自身の携帯電話で119番通報し、火災を未然に防いだ。



備えましょう 消火器

～火を使う場所に備えましょう～

消火器による初期消火は、火災の被害軽減や抑制に効果的です。一般住宅向けの小型で軽量の住宅用消火器や、片手でも使用できるエアゾール式消火具もあります。



使用放置による火災事例



調理中の鍋が空焚きになったことで火災となった。火が上がっていても消火器があれば延焼拡大を防ぐことができる。